

未経験の農業を軌道に乗せてくれた、 たくさんの人とのつながりを大切に

リーフレタス経営 荒木町 宇佐川美奈さん（30歳）

●●● 就農のきっかけ ●●●

27歳の頃、転職先を探していた時に、ガーベラ農家の義父に「空いている農地を使って農業をしないか」と勧められました。当時会社員の夫も、いずれは農業をやりたいと考えていたこともあり、就農を決意しました。

●●● うれしかったこと・つらかったこと ●●●

農業を始めて、色々な人と知り合って人脈が広がりました。また、日々野菜が生長していく姿もうれしく思います。就農当初は一人で作業していたため休む暇がありませんでしたが、今は義妹の手伝いもあり、時間に余裕ができてきました。

●●● 農業への思い・こだわり ●●●

せかせか慌てた気持ちではなく、じっくりと楽しみながら農業に取り組みたいと思っています。また、就農して部会の先輩方から教わるなかで、「人とのつながり」の大切さをあらためて感じました。

●●● 今後の方向性・展望 ●●●

リーフレタスの規模を拡大し、農業で生活していけるようになりたいです。また、部会に加入したことで、より品質のよいリーフレタスを作りたいと思うようになりました。経営面についても、研修会などに参加し、勉強していきたいと考えています。



プロフィール
 ■労働力構成 / 本人、夫、義妹
 ■就農年数 / 3年
 ■耕作（経営）規模 / 87a
 ■販路 / J A 共販



高良内地域の農地を守り、地域の 活性化ができる法人経営へ

米麦、野菜経営 高良内町 農事組合法人 高牟礼の里

●●● 法人設立のきっかけ ●●●

高齢化が進む高良内地域の農作業を受託し、地域の農地を守っていくことを目的に、高良内地区営農組合の作業部会の構成員で、農事組合法人「高牟礼の里」を設立しました。構成員6人のうち2人が30代という若さ溢れる法人です。

●●● 法人設立の良かった点・課題 ●●●

法人化することで6人の連携は深まり、仲間がいるという心強さがあります。現在は、各々の経営をしながら、法人の活動を行っているため、個人の経営とのバランスが難しいことがあります。将来的には、全てを法人経営にまとめていきます。

●●● これから取り組むこと ●●●

現在は作業受託が主ですが、今後、減農業などによるオリジナルブランドの確立やニーズに合った野菜の導入、加工品販売など、こだわりの商品作りで、顧客確保を図り、消費者に喜んでもらえる「顔の見える販売」をしていきます。

●●● 今後の方向性・展望 ●●●

「息子が仕事を選ぶ際に、農業が仕事の選択肢の1つになるような姿」、「美味しいものを作り、競争に勝てる品目の生産や経営」、「みんなが農業をしていて良かったと思える営農形態」など、6人の想いが形となる法人経営を目指し、高良内地域の農地を守っていきます。また、調整・加工要員としての高齢者の雇用や、催事への積極的な参加など、地域に貢献していきます。



プロフィール
 ■構成員 / 6人（代表理事：古賀 一英さん（45才））
 ■設立年月日 / 平成25年2月20日
 ■経営規模 / 米13.5ha、麦17ha、キャベツ0.4ha
 ■販路 / J A、直接契約（個人、企業）

増崎信之介さん
 藤吉央喜さん
 大久保富佐雄さん
 井本清隆さん
 古賀一英さん（代表）
 藤吉和弘さん

